

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成26年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県御勅使南公園	所管課	都市計画課
所在地	南アルプス市六科1588-2	設置年月日 (改築年月日等)	昭和61年11月1日
管理方式	指定管理者(株式会社富士グリーンテック、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	以下に掲げる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮していくこと ・良好な緑地景観、環境を提供すること スポーツの場を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	ラグビー場2面(34,000㎡)、遊具広場(25,000㎡)、徒歩池(1,200㎡)、疎林広場(4,280㎡)、トリムコース(3,400㎡)		
主な業務内容	公園施設及び設置器具等の維持保全 有料施設の利用承認 県が実施する大会等への協力		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	曾根丘陵公園、富士川クラフトパーク
---------------------	-------------------

3 利用状況

単位:人、%

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	196,418	193,785	221,045	
	有料施設利用者数	13,329	15,057	16,527	
	利用者数合計	209,747	208,842	237,572	
	目標値	187,000	188,000	202,000	246,000
	目標値設定の考え方及びその理由	前年度実績	前年度実績	前年度実績	H26年度の公園利用者数の4%増を目標とする。
	対24年度比	100.0%	99.6%	113.3%	117.3%
稼働率					

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成25年度	平成26年度 (計画値)	平成26年度 (実績値)	平成27年度 (計画値)
収 入	施設利用料	559,000	762,000	580,050	813,000
	指定管理者委託料	77,673,000	78,549,000	78,549,000	79,961,000
	その他	1,398,934	1,400,000	2,040,400	1,480,000
	収入合計(A)	79,630,934	80,711,000	81,169,450	82,254,000
支 出	人件費	18,256,254	20,388,000	20,078,733	20,388,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	60,261,469	60,323,000	59,530,837	61,866,000
	うち外部委託費(B)	23,704,431	21,000,000	22,366,601	23,760,000
	支出合計(C)	78,517,723	80,711,000	79,609,570	82,254,000
収支差額(A-C)		1,113,211	0	1,559,880	0
外部委託比率(B÷C)		30.2%	26.0%	28.1%	28.9%
利用者一人当たりの経費		371.9	418.0	330.6	325.0

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成26年4月～平成27年3月、実施方法：公園利用者へのアンケート、回答数：111人
-------	---

単位：%

調査項目	満足	やや満足	やや不満	不満
この施設を利用してどのように感じましたか。	67.9%	30.3%	1.8%	0.0%
公園の快適さ(園路の機能)	74.1%	25.0%	0.0%	0.9%
公園の快適さ(トイレや休憩所の清潔度)	59.8%	34.6%	5.6%	0.0%
公園の快適さ(樹木などの状態)	68.5%	31.5%	0.0%	0.0%
公園内の情報や案内	59.6%	40.4%	0.0%	0.0%
公園内の安全度	72.9%	25.2%	1.9%	0.0%
公園スタッフの対応	68.5%	31.5%	0.0%	0.0%
この公園全体に満足していますか。	74.3%	22.8%	2.9%	0.0%

利用者の意見	ほとんどの公園利用者から好感を得ています。意見としては、1、森林ゾーンにおいて変質者情報がある。2、園路の不陸箇所がある。3、子どもトイレの充実。4、犬のマナーの徹底。が寄せられました。
利用者の意見への対応	1に対しては日常パトロールの強化を図り、また防犯カメラ設置要望も行っています。2に対しては、自主修繕等により徐々に改善中であります。3に対しては、おむつ替えの場所を改修要望中です。4に対しては、犬のマナー教室を取り入れて啓発啓蒙を行っています。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>施設の保守管理については日常点検等において経年劣化による不具合がないか注意し、必要に応じて利用禁止措置や計画的改善要望及び初期対応を行なっています。</p> <p>夏は40度を超える激暑や台風等、環境側面の急激な変化により、病虫害の発生や枯損が多くなりました。このことは、従来の植生分布が変化を余儀なくされてきていると感じています。いずれにせよ、順応型管理を心掛け、予防保全に努めていくことが肝要と思われまます。</p> <p>清掃についても管理範囲に隣接する場所等はスタッフがボランティアで対応するなど、これらの事が、利用者から幅広い評価を頂くことで管理者と利用者が物心両面で満足な状態を維持できると確信しています。</p>	<p>樹木医による診断を定期的に行い、診断結果に基づき植栽管理を行うことで、適切に維持管理業務を行っている。また、隣接地の清掃を実施することで、周辺環境の美化にも努めている。</p>
運營業務	<p>利用者のクレームについては、不具合是正報告で適正な処置を実施するべく社内伝達しています。施設の劣化等により利用者に支障をきたすものは、自主修繕や計画的修繕として県に改善要望を行っており、今までも順次グラウンドにおける排水改善や舗装改修等をやって頂きました。このことで、今後さらなる利用者増が見込まれます。</p> <p>また、アンケート調査を実施して、利用者の要望をつかみ、事業に反映しており、それらの事で利用サービスの向上が図られています。</p> <p>スタッフにおいてはOJTを通して常に利用者目線で気づき、対応する姿勢が備わってきました。</p>	<p>自社の強みを生かして芝生の管理に力を入れており、高い水準を保っており、利用者から好評を得ている。清掃業務については、隣接する社会福祉村に委託することで、障害者の社会復帰支援に寄与している。</p>

<p>自主事業</p>	<p>山梨県陸上競技連盟と協働事業で行ったクロスカントリー大会は継続事業として行っており、自主事業として開設したジョギングコースを利用したアスリート強化事業として他県からも注目される一大イベントとして確立できている。また環境事業として行っている、今では毎年恒例となった自然学習教室の催しにより、弊社が掲げる運営理念に沿った公園利用の促進を図ることができました。売店については、オープンテラス化にして8年目にあたり、利用も定着してきました。引き続き開放的空間の演出と利用者滞在性を確保していきます。ライン引きについては、ほとんどの利用者から依頼を受けています。使用者から、すぐに使用ができるため準備に時間がかからなくて助かっているとの高評価をもらっています。</p>	<p>過年度に自主事業により設置したクロスカントリーコースは認知度が高くなっており、毎年大会が開催されるようになっており、公園利用者の増につながっている。</p>
<p>利用状況</p>	<p>当公園の指定管理者として管理運営を承って9年の間、運営理念である「健全な心と体づくりをサポートする場所づくり」を掲げ、様々な取組みや意識改革を行ってきました。特に新たな公園価値の創出として、未利用地であった樹林地を利用したクロスカントリーコースでは、県外からの利用者も増え、当場所を利用した県の大イベントである山梨県クロスカントリー大会は、毎年大勢の参加者が募っています。</p>	<p>公園のHPをリニューアルし、公園の魅力を分かり易く広報することで利用者の増に努めており、クロスカントリーコースの認知度が高まったことや、高水準の芝生のグラウンドを維持することで、利用者は着実に増加している。</p>
<p>収支状況</p>	<p>人件費については、管理職員増員により前年度を上回りました。光熱水費は東日本大地震における節電対策が定着し、当公園でもデマンド装置の設置でピーク電力を調整し抑制しています。修繕費については外注費及び直営で賄いました。需用費は管理機械の車検・検査費用が計画より上乘せ。植栽管理費は順応型管理による初期対応と予防管理によるコスト効果と管理人員増による日常管理により抑制効果を生みました。設備管理及び清掃管理は概ね計画通り。施設の経年劣化に伴う維持管理費増の抑制を行う為、予防管理と順応型管理を行い、長寿命化を図るという意識で日常管理等に励んでいます。さらに職員のマニュアル化されない即対応力の備えや常に利用者目線で見据える気づきの精神で運営しています。</p>	<p>ピーク電力値を抑制することで、電気料の削減に努めている。</p>

利用者満足度	<p>当公園の管理運営も9年目に入り、公園サービスの面では、概ね良い評価を頂いていると思います。今後も利用者目線で、気づきの心を持って、更なる利用者サービスの向上を目指してまいります。</p>	<p>高い評価を得ている。今後も適切な管理運営を行うことで高い満足度を維持出来るように努めること。</p>						
運営目標の達成状況	<p>運営目標の指標</p> <table border="0" data-bbox="454 481 1292 548"> <tr> <td>来園者数</td> <td>目標値 202,000人</td> <td>実績値 221,045人</td> </tr> <tr> <td>有料公園施設使用者数</td> <td>目標値 15,000人</td> <td>実績値 16,527人</td> </tr> </table> <p>リニューアルした遊戯ゾーンが県内外利用者に浸透した結果、平日の利用が増加しました。一方自主事業で整備したジョギングコースは、休日になると県外からの利用者も訪れるようになり、入園者数は目標を大きく上回りました。また有料公園施設についても目標を上回りました。</p>		来園者数	目標値 202,000人	実績値 221,045人	有料公園施設使用者数	目標値 15,000人	実績値 16,527人
来園者数	目標値 202,000人	実績値 221,045人						
有料公園施設使用者数	目標値 15,000人	実績値 16,527人						
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>東西に細長い公園の特徴を生かして整備したクロスカントリーコースによって、園路を散歩する人と走る人の区域が分かれており、両者がそれぞれの活動に支障が出ないようにしており、適切な運営がされている。公園利用者も着実に増加しており、今後も適切な管理運営を行うように努めること。</p>							
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>当公園は、利用性の異なるゾーンが延長約2kmにわたって配置されているため、各々の施設において利用形態が異なり、管理運営するポイントも一律ではありません。職員による日常的な清掃・点検・巡回業務により、安心・安全な公園環境を維持し続けます。</p> <p>緑地維持管理においては、ゾーン毎にメリハリをつけた維持管理を行っています。事前予防と初期対応を重視し、残存する樹木や植物の生態環境を把握したなかで、快適な緑地環境を保持していきます。</p> <p>公園施設の老朽化対策については、全国で発生している老朽化施設が原因の事故等を踏まえ、自主点検強化と自主修繕による予防保全を徹底して、長寿命化を意識したなかで、補修改善または撤去更新等の対応をとっていきます。</p>							

7 管理体制(組織図)

平成26年4月1日現在

